

前年度の成果と課題	教育目標	豊かな心と自ら学ぶ意欲をもち、主体的に活動する生徒の育成	総合評価	
教職員間で、こまめに目標を共有し同じ方向性を持って教育活動を進めることができた。その結果、生徒も落ち着いた状況で、学校行事、生徒会・委員会活動、部活動などにも活気が増した。地域との連携については感染症対策のため縮小・中止することが増えているなかで、どのような取り組みができるかの工夫が必要である。今後、若手教員が多い中、教員の指導力の向上に努めるとともに、信頼される学校づくりをさらに進めていく。	運営方針	目指す学校像「一人ひとりが生き生きと輝き、思いやりや心づかいが見える学校」		
	本年度の重点目標	①学びたくなる授業の創造と確かな学力の定着の推進		
		②自律と奉仕の精神の育成		
		③特別支援教育の推進・校内支援体制の確立		
		④美しく温もりのある校内環境づくり		
⑤地域に開かれた、信頼される学校づくり				

学校経営	評価の観点	I	II	評価	成果と課題（評価の分析）	次年度への課題と改善策等	学校関係者評価
教育目標 経営方針	① 学習指導要領や「香芝市学校教育の指導の重点」等を踏まえた教育目標や経営方針を設定している。	A	A	A	学習指導要領ならびに「香芝市学校教育の指導の重点」の趣旨を踏まえ、教育目標や運営方針を設定している。	学校教育目標の実現に向け、これまでの教育活動の中で大切にしてきた営みを大切にしつつ、新着任の教職員が「本年度の重点目標」を意識しながら教育活動にあたっていけるよう、年度当初に示す学校経営方針を明確に示す。 また、教職員に対し、「目指す学校」・「生徒像」・「教師像」の周知・理解を求めることに加え、様々な場面で具現化を図るよう呼びかける。	法令及び「香芝市学校教育の指導の重点」を踏まえ、家庭・地域に信頼される学校づくりを全教職員の共通理解の上、尽力いただきたい。
	② 目指す学校像・生徒像・教師像を具体的な姿で示している。	A	A		年度当初に示したグランドデザインにおいて、「目指す学校像」・「生徒像」・「教師像」を示し、新着任の教職員も含め共通理解を図っている。		
	③ 学校の特色や前年度の課題を踏まえた重点目標等を設定している。	B	B		前年度の総括や学校評価、学校運営協議会、地域保護者の意見を踏まえて、重点目標を設定した。それをもとに各校務分掌も目標を設定している。		
	④ 学校運営や教育活動を構造化・体系化してグランドデザイン等に示している。	B	B		学校運営や教育活動を可視化し、関係者に示すことができた。		
	⑤ 経営方針や重点目標等を教職員が共有している。	A	A		年度当初の職員会議において時間をとり、丁寧に説明し共通理解を図っている。		
	⑥ 重点目標等を学校だよりやホームページ等で生徒・保護者・地域住民等に発信している。	B	B		今年度の重点目標を踏まえ、儀式的行事やPTA広報誌、各種会合において発信している。		
重点目標	①学びたくなる授業の創造と確かな学力の定着の推進	B	B	B	職員会議や職員研修を通じて「指導と評価の一体化」を図るよう伝達したり、「主体的に学習に取り組む態度」の評価の在り方を重ねたりした。	① 学習面に課題を抱える生徒への支援として、放課後学習と家庭学習が充実するよう制度設計し、「教えるプロ」としての自覚をもちながら組織的な対応を行う。 ② 学校評価アンケート（教員）「自主自立、奉仕の精神を育成する教育活動を行っている」で肯定的に回答した教員の割合が89%（昨年度より5ポイント）であったことを踏まえ、生徒会活動を活性化させる取組を足がかりに改善を目指す。 ③ 特別支援教育コーディネーターを中心として校区内小学校との連携を強化しながら9年間の見通しを持った特別支援教育を推進していく。 ④ 地域の方々から協力いただきながら校内環境を維持しつつ清掃活動や係活動にも組織的に対応する。 ⑤ こまめな情報発信やコミュニケーションを通じて学校の取組を可視化し、信頼関係の一層の構築を目指す。	昨年度との経年比較をした上で、本校の現状を分析いただいている。今後も地域や家庭に開かれた学校づくりに尽力いただきたい。
	②自律と奉仕の精神の育成	B	B		2学期当初には除草作業、年末には校区内の美化作業などの生徒主体の活動に充実を努めた。月に一度の挨拶運動も一層力を注ぎたい。		
	③特別支援教育の推進・校内支援体制の確立	B	B		全休人教職員において、支援について教職員で共通理解を図った。特別支援学級の充実に向けて着実に進んでいる。		
	④美しく温もりのある校内環境づくり	A	A		長年放置されていた校内の不要物や空き教室の片づけを徹底し、美しい環境づくりを行った。		
	⑤地域に開かれた、信頼される学校づくり	A	A		各種通信類、一斉メール配信、保護者会等、様々な機会に情報を発信した。		
組織運営 校務分掌	① 学校の課題や今日的な教育課題に対応するための組織をつくり、具体的に取り組んでいる。	B	B	B	校務分掌、学年、教科等それぞれの場面において組織的に取り組むことができた。	組織体制の在り方を常にチェックしていきながら、必要に応じて軌道修正できるよう、風通りのよい教職員風土を維持する。また、教職員間において、学校運営における無関心の根絶を目指す。	円滑な学校運営には、教職員の連携が必要不可欠であることを踏まえ、教頭を中心とした連絡体制をお願いします。
	② 企画（運営）会議や学年会議、分掌会議を定期的に関き、組織的な運営を進めている。	B	B		年間計画に基づき、企画運営委員会や各種会議を開催することができ、組織的な運営ができた。		

学校評価	① 学校評価委員会等を設置し開催している。	B	B	B	P D C Aサイクルの「C」に位置付ける機会と位置付け、計画的に開催することができた。	保護者・生徒・教職員、それぞれの立場からのアンケート結果を分析し、結果のみならず分析結果を関係者と引き続き共有する。 また、分析結果を踏まえた教育活動を推進し、信頼される学校づくりに尽力する。 生徒及び地域の実態を踏まえ、より一層の生徒の主体性を生かした活動を進める。 さらに、学校評価方法を検討し、学校改善のツールとなるよう努めたい。	学校評価アンケート（保護者）「生徒たちは元気に挨拶ができています」の項目で、保護者の評価が昨年度よりも1ポイント下がっている。挨拶のできる生徒の育成に向けた具体的活動として、生徒会活動の一層の充実が考えられます。従来の取組に加え、新たな取組の実施に期待しています。
	② 学校全体で組織的に学校評価を推進している。	B	B		分掌、学年、教科等、様々な立場からの総括を可能とするよう、年間計画において会議の期日をあらかじめ決めておくなど、組織的に学校評価を推進している。		
	③ 学校評価の推進計画を作成し、計画的に推進している。	B	B		学校評価の推進計画を作成し、経年分析ができるよう、評価項目を吟味するなど、計画的に推進している。		
	④ 本年度の重点目標等の達成に向けた具体的な目標や取組を評価項目として設定している。	B	B		本年度の重点目標の達成状況を把握することができるよう評価項目を設定した。		
	⑤ 生徒や保護者等を対象としたアンケート（授業評価を含む）を自己評価に適切に活用している。	A	A		アンケート結果を全教職員に公開し、それぞれの立場での自己評価に活用するよう指導している。		
	⑥ 保護者を含めた学校関係者評価委員会を設置し開催している。	B	B		定期的に開催されるPTA役員会において学校運営に対する意見をいただくにとどまった。		
	⑦ 自己評価の結果を踏まえた学校関係者評価を実施している。	B	B		個々の教員の自己評価を把握した上で学校関係者からいただいた意見を、次年度の教育活動の参考としている。		
	⑧ 学校評価をツールとして活用し、学校改善が進んでいる。	A	A		アンケート結果を踏まえ職務を遂行するよう周知し、取組が課題に対応したものになっているかを点検した上で計画・実施している。		
	⑨ 保護者や地域住民等に自己評価の結果を公表している。	B	B		本校ホームページを通じて自己評価の結果を公表している。		
	⑩ 保護者や地域住民等に学校関係者評価の結果を公表している。	B	B		本校ホームページを通じて学校関係者評価の結果を公表している。		
教育課程	① 学校や地域の実態及び生徒の特性を踏まえ、主体的・創造的に活動できるような教育課程を編成している。	B	B	B	コロナ禍により規模を縮小または実施の在り方を検討していた取組を少しずつ取り戻すよう教育課程を編成した。	学校運営協議会でいただいた意見や学校評価アンケート結果を真摯に受け止め、本校が抱える課題を克服するための教育課程を追究する。 教務主任との連携を密にしながら、学習指導要領が定める標準時数の確保に尽力する。	授業時数の確保にご尽力いただいていることを理解しました。引き続き、学習指導要領が定める標準時数の確保にご尽力いただきたい。
	② 授業時数の点検を定期的に行い、年間授業時数の確保に努めている。	B	B		教務主任が中心となって年間授業時数の点検を定期的に行い学習指導要領で定められている標準時数の確保に努めた。		
地域連携	① 地域住民や保護者と連携・協働して、課題解決に向けて取り組んでいる。	B	B	B	学校運営協議会、地域ボランティア、PTA等と連携・協働して様々な取組を充実させた。	地域コーディネーターが窓口となり、学校生活、学校行事、登下校時の見守り活動等においてサポートいただき、円滑な学校運営に大きく寄与いただいた。今後も地域に開かれた、信頼される学校づくりに向けて取組を推進する。	学校が抱える課題を発信いただき、学校関係者として協力できる体制を引き続き整えます。
	② 保護者や地域住民等に対して、地域連携の取組を情報発信している。	B	B		校区内自治会と連携し、地域住民に月に1回の資源回収を行っている旨、情報発信している。		
危機管理	① 公文書や個人情報の管理や保護を適切に行っている。	B	B	B	書類やデータ、物品の保管方法や保管場所について、職員間で共通理解と周知・確認した。職員の意識向上のために定期的に注意喚起を促した。	学校への不信を招く事案が全国的に頻発している実態を踏まえ、不審者対応マニュアルを全員で再度確認するなど、危機意識の醸成に一層努める。不審者対応については、第三者機関の力も借りながら、不測の事態にも適切に対処できるよう研修を進めていきたい。	情報管理の徹底ならびに生徒の命を守る体制づくり・行動に抜け落ちのないようお願いいたします。
	② 危機管理マニュアルを作成し、共通理解している。	B	B		マニュアルの作成、共通理解のための研修や訓練を一層充実させ、不測の事態に対応する取組を一層充実させる。		
	③ 食物アレルギー等を有する生徒に対して、指導体制や緊急対応の体制を整えている。	B	B		年度当初に、アレルギー研修を実施し有事の際の緊急対応について、共通理解を図った。		

評価基準【 A：十分達成できた（達成度80%以上） B：おおむね達成できた（達成度60%以上80%未満） C：あまり達成できていない（達成度40%以上60%未満） D：達成できていない（達成度40%未満）】

令和5年度 学校評価総括（計画）表【Ⅱ】

香芝市立香芝西中学校

教育活動	評価の観点	I	II	評価	成果と課題（評価の分析）	次年度への課題と改善策等	学校関係者評価
学習指導	① 学習指導要領に基づき、教育目標等を踏まえた各教科等の年間指導計画を作成・活用するとともに、シラバスを作成して生徒や保護者に公表し活用している。	A	A	B	各教科の学習目標を示したシラバスを作成し、生徒や保護者に周知している。生徒には各教科等の授業において詳しく説明している。	年度当初に公開したシラバスに基づき、概ね計画通りに進めることができた。出席停止の生徒には、求めに応じオンラインで授業を受けられるよう体制を整備したため、内容や授業の進行に大きく差し支えはなかった。来年度は生徒が主体的に取り組むことを目指した、体験的な学習等も一層取り入れながら、学びたくたる授業の創造を具体的に展開する。 学校評価アンケート（生徒）「私は学習に対して目標をもって意欲的に取り組んでいる」との質問に肯定的に回答した生徒の割合が70%で昨年度より7ポイント下回っている。今後、調査結果を踏まえ、個々の授業においては、生徒が見通しをもって学習できるよう、学習課題や目標を明示したり、自らの学びを振り返り学習課題を解決したりする機会の確保に努めた。今後、学習面で課題を抱える生徒への支援を充実させ、「わかる喜び」を味わわせる指導を推進していきたい。	生徒の学力向上は、学校関係者・生徒・保護者共通の願いであることを踏まえ、「次年度への課題と改善策等」にあるように、生徒に学習意欲を持たせる指導を充実させたり、「わかる授業」の創造に向けた教員の授業改善を図ったりするなど、各教員が持ち得るスキルの向上を期待しています。
	② 基礎的・基本的な知識や技能の習得と、それらの活用を図る具体的な取組を計画的に行っている。	B	B		小テストなどを通して既習事項の確認を行うなど、計画的な学習指導を展開した。		
	③ 習熟度別指導や少人数指導等を取り入れ、個に応じた指導を行っている。	B	B		少人数加配により人員を中心とした指導を展開し、学校全体として個に応じた指導を展開する機運が高まった。		
	④ 体験的な学習や課題解決的な学習等、生徒が主体的に取り組む学習を行っている。	B	B		実習を伴う教科において指導の制限が緩和されたことにより、生徒が主体的に活動する場面が昨年度以上に充実した。		
	⑤ 授業における生徒の学習状況を適切に評価し、指導に生かしている。	B	B		定期的に机間巡視や提出物に対する指導などを行い、適切な評価活動に努めた。また、生徒に自己評価を行わせ指導に生かす教科もあった。		
学習意欲	① 生徒の学習の実態を分析し、全教職員で課題を明確にしている。	B	B	B	全国学力・学習状況調査の結果を教職員で共有し、課題である「学力の二極化」を克服するための具体的な手立てについて制度設計しているところである。	香芝市から指定を受けて、学力向上に向けて取り組んで得た知見を一層追究し、「学力の二極化」の解消に努めたい。具体的には、「振り返り活動」により学力の定着を、「家庭学習」の充実により学習習慣の定着をそれぞれ目指す。	学習意欲を高める手立てとして、「分かる喜び」を味わわせたり、「学ぶ意義や学ぶ必要感」を実感させたり、知的好奇心を喚起したりする指導の充実が考えられるので、生徒の実態に即した指導の工夫をお願いします。
	② 学習意欲向上のために、教科等において具体的な取組を行っている。	B	B		授業開きにおいて、教科を学ぶ意義について説明したり、学年だよりにおいて時期や生徒の実態を踏まえ学習刺激を与えたりしている。		
	③ 家庭での学習習慣の定着に向けた具体的な取組を行っている。	B	B		教科・学年を通じて家庭学習での課題を与え、学習習慣の定着を図っている。		
生徒指導	① 生徒の実態について共通理解し、教職員が連携して、組織的・継続的に指導する体制を整えている。	B	B	B	生徒に関する情報を毎朝の打合せや職員研修を通じて共有し、共通理解のもとで指導を展開している。	生徒指導事案が起きた際には生徒指導主事が中心となり、迅速に対応できている。教職員個々の考え方の相違や経験の軽重があることを踏まえ、教職員の連携を密にしつつ、生徒指導方針を軸にした対応の徹底を追求する。	生徒指導において、事案の円滑な解決には、初期対応が重要であるといわれている。香芝西中学校においても、生徒指導主事を中心として、事案の早期把握に努め、適切に対応いただきたい。
	② 指導や支援のできる教育相談体制を整えている。	A	A		生徒指導主事を中心に学年や担任と連携し、迅速な問題解決にあたるなど、組織的に対応することができた。		
	③ 家庭や地域、関係機関等との連携・協力体制ができています。	B	B		家庭や地域、関係機関と連携できている。今後、さらに連絡を深めていくことが必要である。		
規範意識	① 生徒の実態を分析し、全教職員で課題を明確にしている。	B	B	B	定例の職員会議において各学年や学校全体の生徒の実態を報告し合い、分析結果ならびに対応策を共有し、課題解決に向けて取り組んでいる。	学校評価アンケート（保護者）「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」に対し、肯定的に回答した保護者の割合は、89%で昨年度から2ポイント上昇している結果から、いじめ等の諸問題に対する学校の取組に対し一定の理解はいただいているものと考えられる。今後も生徒指導事案が起きた際には生徒指導主事が中心となり、迅速に対応することを追求する。	規範意識は、一朝一夕のうちに改善するものではない。教職員が自身の日々の言動を振り返ったり、生徒への見守り活動を継続的に行ったりすることで醸成されていくものと考えます。今日的な課題の一つとして挙げられる、SNSを通じたトラブルの解消のため、保護者との連携も大切であると考えます。
	② 課題解決に向けて、具体的な取組を行っている。	B	B		いじめについてアンケートの結果を、早急な対応を求められる事案を抽出し、学級担任を中心とした聞き取り調査を実施するなどした。		
	③ いじめに関して実態を把握するとともに、教職員が共通理解の下、いじめの防止・指導に取り組んでいる。	B	B		定期的に教育相談を実施している。また、人権標語やいじめ標語を考える機会をもつなどの指導にも取り組んでいる。		
	④ 規範意識を高めるために、保護者や地域住民、関係機関等と連携して取り組んでいる。	B	B		「ニコニコ挨拶運動」や朝のPTA立哨を規範意識を高めるための具体的な手立てと位置付け、様々な立場の方とのつながりを通じて規範意識の向上に努めている。		
特別の教科 道徳	① 道徳教育の全体計画を作成し、活用している。	B	B	B	道徳の年間計画を作成し、活用することができた。	道徳の指導案作成から始まる一連の業務を学級担任だけでなく、当該学年の教員全員が担うものと位置づけ、道徳教育を今後も展開し、学校が抱える課題の解決につなげていきたい。	教職員間での連携により道徳の授業を進めている点については、学級担任の業務負担軽減の観点から、素晴らしいと考えます。今後も道徳の授業を基盤としながら学校生活全般で道徳教育を推進していきたい。
	② 道徳教育を推進するための体制を整え、具体的な取組を行っている。	B	B		担任任せにせず、学年単位で生徒の実態を協議しながら教材研究をするなど、全校体制で取り組んでいる。		
特別活動	① 特別活動の全体計画及び各活動・学校行事の年間指導計画を作成し、活用している。	B	B	B	特別活動の年間計画を作成し、活用することができた。	学校評価アンケート（保護者）「学校行事ではクラスの団結力が感じられる」に対し肯定的に回答した保護者の割合は昨年度を6ポイント上回る93%であった。また、生徒を対象とした同様の設問に対し、肯定的に回答した生徒の割合は、昨年度を3ポイント上回り92%であった。今後も学校行事を通じて生徒間のつながりを追求するとともに、生徒会活動の活性化に向けた組織づくりを強化していく。	学校行事を通じて生徒が達成感やなまなみの連帯を味わうことができると向えるアンケート結果を見て安心しました。学校行事のねらいを明確にしながら生徒が主体となる行事の活性化に引き続きご尽力いただきたいです。
	② 生徒の望ましい集団活動や体験的な活動を充実するために各活動・学校行事の内容等を工夫している。	B	B		二学期に実施した体育大会、文化発表会、校内音楽会においては参加制限を設けず保護者に来校いただくなど、コロナ禍以前の活動に戻し始めている。		
	③ 生徒会活動等を全教職員の協力体制の下に実施している。	B	B		今年度より、生徒会担当を部活動顧問と同等に位置付け位置付け活性化を図っているところであるが、持続可能な取組にするため一層の見直しが必要である。		

人権教育	① 生徒や地域の実態を踏まえ、県の「人権教育推進プラン」に基づいて人権教育推進計画を作成している。	B	B	B	人権教育推進計画に加え、「人権教育年間計画」を作成し、取組の柱に沿った指導を学年単位で展開した。	人権教育部が中心となって、1学期には定期テスト実施日の午後からフィールドワークに出向き自主研修を実施した。今後も、生徒の人権意識の高揚に向け、教員の資質向上に努めるとともに、PTA主催の講演会を通じて保護者の人権意識の高揚を目指す。	人権教育をベースにして教育活動を展開するという考え方は奈良県教育の特徴の一つと考えます。さまざまな人権問題がありますが、生徒実態に即して計画的かつ組織的に取組を進めてください。
	② 生徒・保護者の人権意識を高める多様な取組を計画・実施している。	B	B		3年間を通して、各学年の実態に合わせ取り組んだ。保護者に対する啓蒙や協働の取組を進める必要があると考える。		
特別支援教育	① 特別支援教育推進計画等を作成している。	B	B	B	年度当初に推進計画を立て、全教職員で共通理解を図っている。特に中学校区内小学校との連携を密にしている。	特別支援教育において、校区内小学校との交流を通じた学習会を年間計画に位置付け、見直しをもった活動を継続していく。指導にあたり教職員のつながりも密にしながら9年間の切れ目のない指導を追求する。	特別支援学級に在籍している生徒へ指導・支援だけでなく、普通学級に在籍している、配慮を要する生徒への指導・支援も大切であると考えます。保護者の思い丁寧に取り組み、すべての生徒が安心して生活できる環境づくりをお願いします。
	② 特別支援教育を推進するための組織を整備し、具体的な取組を行っている。	B	B		新年度を迎える前から担当レベルでの打合せを重ね、年度当初の職員会議で支援を要する生徒の情報共有に取り組むなど、特別な教育課程の実施に備えた。		
キャリア教育	① キャリア教育の全体計画を作成している。	B	B	B	小学校から引き継ぎ、高等学校へ引き継ぐことを見据えた全体計画を作成している。	職場体験学習に替わる取組として、ゲストティーチャーを招聘して主体的な進路選択に資する取組を学校として展開する。	現行の学習指導要領では、「キャリアパスポート」をすべての生徒が作成し、小・中・高と切れ目のないキャリア教育を進めることになっていると聞いている。生徒が自らの学びを振り返り、主体的に進路選択できるよう、ご指導をお願いします。
	② 職場体験学習等を適切に実施し、主体的に進路を選択する能力や態度を育成している。	B	B		職場体験に変わる新しい形のキャリア教育として、本校を拠点としながら地域の人的資源を活用した取組を進めていく。		
健康安全教育	① 学校保健・安全計画を作成している。	B	B	B	これまでの学校保健・安全計画に、さらに感染症対策の指針も確認をしながら学校運営を行うことができた。	学校評価アンケート(生徒)「私は掃除や係活動にまじめに取り組んでいる」に対し肯定的に回答した生徒の割合は94%であったことから、ほとんどの生徒が与えられた役割を果たしていることが伺え、今後も生徒、教職員の垣根を超えて環境美化や清掃活動に努めてまいります。 安全意識の高揚を図るため、奈良シェイクアウトや学校単位での行動を伴う避難訓練に加え、東日本大震災を風化させない取組を3月に実施する。 校内にある和室の整備もすすめ、避難所になった際の休養場所を確保できた。大きな地震がいつきてもおかしくないと言われる中、危機感を持って、安全対策に取り組んでいく。	今年度、自転車通学の区域を昨年度よりも制限し、自転車通学生が大幅に減ったことにより、登下校中の事故が減ったことは評価できる。引き続き生徒の命を守る取組の徹底をお願いします。
	② 薬物乱用や喫煙の防止、性教育、交通安全等に関する指導を行っている。	B	B		薬物乱用・喫煙の防止については3年生で、命の授業・性教育等(デートDVなど)の指導は外部から講師を招聘してそれぞれ実施できた。		
	③ 生徒の自己管理能力向上のために、健康相談、保健指導を適切に行っている。	B	B		養護教諭、保健主事を中心としながら健康相談や保健指導の一層の充実を図っていく。		
	④ 避難訓練や安全意識高揚のための取組を計画・実施している。	B	B		避難訓練や奈良シェイクアウト訓練を実施することで、職員、生徒が安全意識を高め、学校全体で安全対策ができた。		
	⑤ 校舎、校庭等の環境美化や清掃活動に力を入れている。	A	A		教職員の指導監督のもとで清掃活動を行い、校内環境を維持することにより、達成感や自己有用感を味わわせることにつながった。		
食育	① 生徒の食生活の実態を踏まえた食育推進のための計画を作成し、具体的な取組を行っている。	B	B	B	毎月19日を「食育の日」と定め、周知を図るなど、香芝市や給食センターと連携しながら適切に実施している。	年度当初にアレルギー研修を実施し、救急セットの所在を全体で共有するだけでなく、有事の際の対応をすべての教員が行えるよう体制をととのえた。今後もアレルギーを持つ生徒への把握に努め、適切に対応できるよう研修を重ねる。	救急セットの所在を明らかにするなど、有事の際に、速やかに対応できる体制をととのえていることは大いに評価できる。新年度を迎えるにあたり、新たな情報共有と速やかな対応をお願いします。
	② 生徒・保護者の食に関する意識を高める取組を行っている。	B	B		食に関する意識向上に資する取組として、給食だよりを毎月Webページに公開し、保健だよりを毎月紙媒体で配布している。		
読書活動	① 全校一斉の読書活動など、読書活動を推進する取組を行っている。	B	B	B	落ち着いた読書活動ができるよう、静謐な環境を維持することに力を注いだ。	蔵書冊数を増やしたり、室内環境を改善したりするなど、「読書センター」としての機能を充実させる。また、学習面に課題を抱える生徒の支援をおこなう拠点に図書室を位置づけるなど、「学習センター」としての機能を果たせるよう準備を行う。	読書習慣の定着のため、学校図書室的、量的充実をお願いします。
	② 学校図書館が読書活動や教科指導等において有効に活用されている。	B	B		「図書だより」の発行、図書の貸し出し、新着図書紹介、中高生新聞(2誌)の公開など、図書室がもつ機能の充実に努めた。		
体力向上	① 生徒の体力の実態を分析し、全教職員で課題を明確にしている。	B	B	B	体力テストの結果を共有するなどの機会をもつことができたが、課題を共有するまでには至らなかった。	生徒の健全育成において、保健体育科での学びや体育的行事での学びが重要であることを踏まえ、今年度に引き続き来年度も同様の取組を行っていく。特に、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった課題を全教職員で共有するとともに、課題解決に向けた取組を全校体制で行っていく。	年間計画に位置付けられている体育大会や長距離走大会などの学校行事の機会を活用し、運動することの楽しさを味わわせながら体力向上を図るなど、持続可能な方法を追求してください。
	② 保健体育科の授業で、体力向上を図る具体的な指導計画を作成して取り組んでいる。	B	B		課題である体力向上を目標に取組をおこなっている。小学校での指導・充実に力注ぎながら今後も継続的に取り組んでいく。		
	③ 保健体育科の授業以外で、体力向上のための具体的な取組を計画して取り組んでいる。	B	B		昨年度まで開催を見送っていた長距離走大会を実施した。		
研修・研究	① 教職員が積極的に研究・研修に参加し、その成果を教育活動に反映させている。	A	A	B	担当教員が計画した任意の研修として、1学期には人権教育、2学期には生徒指導をテーマとしてそれぞれ実施したところ、積極的に参加する教員が多数あった。	今年度は香芝市からの指定を受け、学力向上に資する研究に全校体制で取り組んだ。研究を通じて明らかになった課題、「教員のICTスキルの向上」「明確になった学習課題を事後指導を充実するなどの授業改善」等に力を注いでいく。 教職員発信で自主研修を企画・立案し積極的に参加する機運を支援するなど、教職員の資質向上に努める。	学力向上に資する一年間の研修の成果と課題を次年度の実践につなげたり、自主研修の実施により、先生方の一層の資質向上を期待しています。
	② 授業研究を計画的に実施し、授業改善に全校体制で取り組んでいる。	B	B		教科の枠を超えて互いの授業を見合う機会を設けている。また、今年度は、県(市)の研究会が主催する公開授業を3回実施した。		
	③ 今日の教育課題や学校の課題に即した研修を計画・実施している。	B	B		香芝市からの指定を受け、生徒の学力向上に資する取組を展開した。		

評価基準【 A：十分達成できた(達成度80%以上) B：おおむね達成できた(達成度60%以上80%未満) C：あまり達成できていない(達成度40%以上60%未満) D：達成できていない(達成度40%未満)】